

夢を叶える一歩

名古屋市立北一社小学校 六年 中垣 慶音

ほくは「JICA」という発展途上国を支援する組織で働きたい。きっかけは二年前、泥水を飲む人々の動画を見て衝撃を受け、彼らの生活がよりよくなって欲しいと思った事だ。その後新聞でJICAの職員の方が紹介されており、この仕事に興味を持った。

JICAに入るためには大学を卒業しなければいけないので、まず進学先から考えることにした。高校は留学生を多く受け入れており、WFL(ワールド・ワイド・ラーニング)に指定されている愛知県立千種高校を志望校にした。大学は海外の大学に留学することも考えたが、国内の社会のことを知ることも重要だと思っていることや、文系理系に捉われず幅広く学びたいと考えていることを踏まえて、行きたい大学を二つに絞った。大学院にも行きたいと思っており、大学院後は興味がある国際開発学を学べる、

イギリスの難関大であるサセックス大学大学院で修士号を、同じく国際開発学の研究が進んでいる大学院で博士号を取ることを目標にしている。

いろいろと調べているうちに、JICA Aでは語学力やボランティアなどの経験も求められることが分かった。今は英検三級を取っているが、JICAでは英検一級レベルの英語力が求められる。ほくは英語で話すことが苦手だという弱点もあるもので、日頃から英語の勉強を頑張りたい。また、インターネットでスペイン語とフランス語を話せるとJICAで役に立つということを見たので、学んでいきたいと思う。そして高校生になってからはボランティア活動に加え、海外研修に積極的に参加したり、ホームステイや短期留学をしたりして、様々な人々の考えや国の文化に触れたい。

ただ、心配なことはお金の問題だ。中

学、高校の部活費、英語の勉強にかかる費用、大学や大学院の授業料、寮の家賃や生活費、これに加えてホームステイや短期留学にかかるお金を合わせたら、かなりの金額になるだろう。大学によっては学業の面で優秀な人に奨学金を給付する制度があると聞いたので、これがもらえるように勉強を頑張りたい。そして、今から節約を心がけ、大学に入ったらアルバイトをしてお金をためたいと思う。

JICAの職員の合格率は一パーセントを下回る年もあり、とても狭き門である。しかし、自分ができることを最大限やり、夢を叶えたい。

中垣 慶音

のライフプラン

将来なにになりたいか? JICAの職員

その理由: 新聞を読んで国際協力分野に興味を持ったから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2022年	12(小6)	英語の勉強を頑張る	習い事の月謝 教材費
2023年	13	猪高中入学、陸上部に入部	習い事の月謝 部活の活動費
2024年	14	英検準2級取得	〃
2025年	15	中学校卒業	〃
2026年	16	千種高校入学、英検2級取得、ボランティア参加、ホームステイ	ボランティア、ホームステイ代 部活の活動費
2027年	17	ボランティア、ホームステイ(短期留学)、英語の勉強に重点を置く	〃
2028年	18	英検準1級取得、大学受検	英語の勉強費
2029年	19	国際教育大学か東国際教育学部入学、授業料、生活費、友達を誘う	入学費、授業費 生活費
2030年	20	文理に捉われず幅広く勉強	授業費 生活費
2031年	21	年間留学	〃
2032年	22	大学卒業、大学院進学で勉強	〃
2033年	23	伊吹・セックス大学大学院修士課程入学、開発学に入社幅広く学ぶ	〃
2034年	24	海外の大学院博士課程入学、さらに知識を深める	〃
2035年	25	〃	〃
2036年	26	〃	〃
2037年	27	JICAに就職	
2050年	40	JICAのプロジェクトに関わる	

※最後の行は、何歳の時にどうなっていたいか、自分で好きな年を入れてみましょう!